

2020.12.20

降 誕 日



降誕日礼拝

2020年12月20日(日)

午前11時・午後2時・午後5時

奏 楽 “いそぎ来たれ 主にある民” C. Callahan
町田佐和子姉・秋葉けい子姉

招 詞 イザヤ書 7章14節
讃 美 歌 248

主の祈り

交 読 文 イザヤ書11章

信 仰 告 白

讃 美 歌 28

祈 禱

聖 書 ルカによる福音書15章11～32

讃 美 歌 175

説 教 「聖なる祝宴」

佐藤栄一牧師

祈 禱

讃 美 歌 263

洗 礼 式 (67)

聖 餐 式 (81)

引き続き「信仰告白式」(510)
ともに第一礼拝(11:00)のみ

讃 美 歌 264

献 金

讃 美 歌 27

祝 禱

報 告

主しゆの祈いのり

天てんにまします われらの父ちちよ。

ねがわくは 御名みなを あがめさせたまえ。

御国みくにを きたらせたまえ。

御心みこころの 天てんになるごとく、地ちにも なされたまえ。

われらの 日用にちようの 糧かてを きようも 与あたえたまえ。

われらに 罪つみを 犯おかす者を、われらが 赦ゆるすごとく、

われらの 罪つみをも 赦ゆるしたまえ。

われらを 試こころみに あわせず、悪あくより 救すくい出いだしたまえ。

国くにと ちからと 榮さかえとは、限かぎりなく 汝なんじのものなればなり。

ア
ー
メ
ン

エッサイの株からひとつの芽が萌えいで

その根からひとつの若枝が育ち

その上に主の霊がとどまる。

知恵と識別の霊、思慮と勇気の霊、

主を知り、畏れ敬う霊。

彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。

目に見えるところによって裁きを行わず

耳にするとところによって弁護することはない。

弱い人のために正当な裁きを行い

この地の貧しい人を公平に弁護する。

その口の鞭をもって地を打ち

唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。

正義をその腰の帯とし、

真実をその身に帯びる

狼は小羊と共に宿り、

豹は子山羊と共に伏す。

獅子は若獅子と共に育ち、小さい子どもがそれらを導く。

牛も熊も共に草をはみ、

その子らは共に伏し

獅子も牛もひとしく干し草を食らう。

乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ

幼子は蝮の巣に手を入れる。

わたしの聖なる山においては

何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。

水が海を覆っているように

大地は主を知る知識で満たされる。

日本基督教団信仰告白

我らは信じかつ告白す。

旧新約聖書は、神の靈感によりて成り、キリストを証し、福音の真理を示し、教会の拠るべき唯一の正典なり。されば聖書は聖靈によりて、神につき、救いに

つきて、全き知識を我らに与うる神の言にして、信仰と生活との誤りなき規範なり。

主イエス・キリストによりて啓示せられ、聖書において証せらるる唯一の神は、

父・子・聖靈なる、三位一体の神にいたしましたもう。御子は我ら罪人の救いのため

に人と成り、十字架にかかり、ひとたび己を全き犠牲として神にささげ、我らの

贖いとなりたまえり。

神は恵みをもて我らを選び、ただキリストを信ずる信仰により、我らの罪を赦して

義としたもう。この変らざる恵みのうちに、聖靈は我らを潔めて義の果を結ばしめ、

その御業を成就したもう。

教会は主キリストの体からだにして、恵みにより召されたる者の集つどいなり。教会は
公おおやけの礼拝れいはいを守り、福音を正しく宣のべ伝え、バプテスマと主の晩餐ばんさんとの聖礼典を
執とり行い、愛のわざに励みつつ、主の再び来たりたもうを待ち望む。

我らはかく信じ、代々よよの聖徒と共に、使徒信条を告白す。

我は天地の造り主みし、全能の父なる神を信ず。我はその独ひとり子こ、我らの主、

イエス・キリストを信ず。主は聖靈によりてやどり、処女マリアより生れ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府よみに

くだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天のぼりに昇り、全能の父なる神の右に

坐ざしたまえり。かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審さばきたまわん。

我は聖靈を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、身体からだのよみがえり、

永遠とこしえの生命いのちを信ず。

アーメン。

わが心は

詞：「讃美歌」1903

MARY'S SONG
曲：Caroline T. (A.) MacNair, ?-1927

わがこころは あまつかみを とうとみ、 わがたましい

す-くいぬしを ほめまつりて よろこぶ。 ア-メン。

(♩=88)

- 1 わが^{こころ}心は あまつ^{かみ}神を ^{とうと}尊み、
わがたましい すくいぬしを
ほめまつりて よろこぶ。
- 2 数^{かず}に足らぬ わが^み身なれど ^み見すてず、
今^{いま}よりのち よろず代^よまで
めぐみたもう うれしさ。
- 3 ^み御名は清く ^{きよ}その御業^{みわざ}は かしこし、
代々^よにたえぬ ^みみつくしみ、
あおぐものぞ うくべき。
- 4 ^{ひく}低きものを ^{たか}高めたもう ^みみめぐみ、
おごるものを ^ひ引き降ろして、
散^ちらしたもう ^みみちから。
- 5 アブラハムの ^{すえ}末裔^{すえ}をとわに ^{かえ}かえりみ、
イスラエルを ^{わす}忘れまさず
^{すく}救いたもう ^{とう}とうとさ。

ルカ1：46-55 イザ7：14 サム上2：1-10

- 11 また、イエスは言われた。「ある人に息子が二人いた。
- 12 弟の方が父親に、『お父さん、わたしが頂くことになっていいる財産の分け前をください』と言った。それで、父親は財産を二人に分けてやった。
- 13 何日もたないうちに、下の息子は全部を金に換えて、遠い国に旅立ち、そこで放蕩の限りを尽くして、財産を無駄使いしてしまった。
- 14 何もかも使い果たしたとき、その地方にひどい飢饉が起こって、彼は食べるにも困り始めた。
- 15 それで、その地方に住むある人のところに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやって豚の世話させた。
- 16 彼は豚の食べるいなご豆を食べてでも腹を満たしたかったが、食べ物を与える人はだれもいなかった。
-
- 17 そこで、彼は我に返って言った。『父のところでは、あんなに大勢の雇い人に、有り余るほどパンがあるのに、わたしはここで飢え死にしそうだ。』
- 18 ここをたち、父のところに行つて言おう。「お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。』
- 19 もう息子と呼ばれる資格はありません。雇い人の一人にしてください」と。』
- 20 そして、彼はそこをたち、父親のもとに行つた。ところが、まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄つて首を抱き、接吻した。
- 21 息子は言った。『お父さん、わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。』
- 22 しかし、父親は僕たちに言った。『急いでいちばん良い服を持って来て、この子に着せ、

手に指輪をはめてやり、足に履物を履かせなさい。

23 それから、肥えた子牛を連れて来て屠りなさい。食べて祝おう。

24 この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ。』そして、祝宴を始めた。

25 ところで、兄の方は畑にいたが、家の近くに來ると、音楽や踊りのざわめきが聞こえてきた。

26 そこで、僕の一人を呼んで、これはいったい何事かと尋ねた。

27 僕は言った。『弟さんが帰って來られました。無事な姿で迎えたというので、お父上が肥えた子牛を屠られたのです。』

28 兄は怒って家に入ろうとはせず、父親が出來てなだめた。

29 しかし、兄は父親に言った。『このとおり、

わたしは何年もお父さんに仕えています。言いつけに背いたことは一度もありません。それなのに、わたしが友達と宴会をするために、子山羊一匹すらくれなかったではありませんか。

30 ところが、あなたのあの息子が、娼婦どもと一緒にあなたの身上を食いつぶして帰って來ると、肥えた子牛を屠っておやりになる。』

31 すると、父親は言った。『子よ、お前はいつもわたしと一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。』

32 だが、お前のあの弟は死んでいたのに生き返った。いなくなっていたのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ喜ぶのは当たり前ではないか。』

(ルカによる福音書 15章 11〜32節)

コロナ感染症が急拡大しています。役員会としても、推移を注視しつつ、たとえクリスマスであっても、状況によっては、政府・行政の方針にかかわらず、躊躇なく「礼拝出席の自粛」を決定します。

その際は、教会連絡網および教会HPにてお知らせいたします。

◆ 週報「追加」もあわせてご覧下さい。前週の諸報告は、すべてそちらに載せました。

◆ 礼拝の中で、立ったり座ったりするのが困難な方は、どうぞお座りのままで礼拝してください。

* 今週の集會

SS 降誕日礼拝	20 日前9時 (全科合同)
家庭クリスマス	20 日夜 (その他) 都合に合わせて
祈 禱 会	23 水後7時 (黙想と祈り)
燭 光 礼 拝	24 木後7時
クリスマスの片付け	26 土前10時

◆ 今日のお花の奉仕は熊野順子姉です。

* 日曜学校は、コロナ禍のクリスマスとして、幼小科と中高科が合同で、20日(日)の9時から礼拝とミニ祝会を続けておこないます。その様子は、来週報告いたします。なお、12月27日と1月3日は休校で、新年は1月10日から始まります。

* 家庭クリスマス(20日夜 または、都合のよい日に)
「教会では礼拝、お祝いは家庭で」——礼拝で受けたクリスマスの喜びを、それぞれの置かれている場で表わしましょう。また、それをするのが難しい人を招いて下さると幸いです。同じ礼拝で受けた喜びが、どの人の所でも祝われている——そういう夜になりますように。

家庭クリスマスをしたら、ぜひ人数や様子などをお知らせください。簡単に書けるように「報告用紙」が用意してありますのでどうぞお使いください。受付の小掲示板にあります。また、報告は電話、ファクス、Eメールでもけっこうです。

§ 燭光礼拝の案内状

燭光礼拝は、もう一つのクリスマス礼拝。暗闇に輝く小さなロウソクの光に、世の光イエス・キリストの到来を想うときです。「燭光礼拝に出てみたい」——このコロナ禍にあつて、ますますそう思っている人が私たちの回りにはきつ々しいと思います。そういう方をお誘いするために「案内状」を用意しました。受付にありますので、ひと言書いて、「ご自分の名前でお出しください。但し、くれぐれも「無理なく。」

* 教会は、31日(木)と2日(土)までお休みとなります。なお、教会への電話は、牧師の携帯電話に転送されます。緊急の連絡がありましたら、遠慮なくどうぞ。

* 年末年始の予定

日曜学校 27日(休校)
 歳末礼拝 27日 前11時
 1月定例教師会 27日 後1時
 祈禱会 30日(休会)
 新年礼拝 3日 前11時
 祈禱会 6日 前11時 (佐藤牧師)
 1月定例役員会 10日 後1時

(1月3日の予定を変更)

* 奉仕者への感謝

いつも教会のために奉仕して下さっている次の方々に、クリスマスにあたり、教会からの感謝の意を表しました。

(教職) 加山真路牧師、佐藤栄一牧師

(事務スタッフ) 松川恵美子姉

(日曜学校教師・事務)

小宅ますみ姉、高坂昌代姉、最勝寺真美姉、

田窪千絵姉、出口友里絵姉、永山孝子姉、

平野正彦兄、前田ゆき子姉、吉岡裕子姉

(オルガニスト・讚美歌指導)

秋葉けい子姉、川嶋真理姉、佐藤三四子姉、

鈴木まり子姉、大東敬子姉、高殿成子姉、

町田佐和子姉

—教会にはこのほかにもさまざまな奉仕があり、たくさんの方がこれに当たって下さっています。そういう方々のことも、どうぞお憶えください。

* クリスマスの間安

今日、それぞれの場でクリスマスを迎えている教会員、教会関係の方々がおられます。この方たちに、教会からクリスマスの喜びをお届けしました。

◇ 不在会員ほか108名にクリスマスカードを送りました。

今年、コロナ禍で教会訪問がなかなかできませんが、それでも条件が整い、ご家族や入居先の同意があれば、ミニ・リースのお届けや、訪問聖餐をします。

(ご希望の方は牧師までどうぞお申し出ください。)

◇ 八郎潟教会・ひの木教会にリースをお送りしました。
◆ クリスマスカードが届きました！

個人消息の欄で紹介したものを以外に、クリスマスカードがたくさん来ています。今年も1Fホールに掲示しました。ゆっくりご覧ください。

クリスマス特別献金
目標額 二四〇万円

使途 教職他への感謝、クリスマスなど教会の諸活動、また外部への献金のために。

期間 できれば12月中におさそびください。
教会員以外の方で献金してくださる方がいらっしやいましたら、受付の小掲示板の状差しに献金袋がありますので、どうぞお使いください。

S クリスマス委員会から

☆ 26日(土)の午前10時から、クラッツ、リース、ツリー、ペンライトなどの片付けをします。
これが今年のクリスマス締めくくり。たくさんの方にお手伝いいただければ幸いです。

* 新成人祝福のお申し出

今年も「新成人祝福式」を次のとおりおこないます。

日時 2021年1月10日(日) 聖日礼拝

対象者 (原則として) 2000年4月2日～

2001年4月1日生まれの方

申し出 ベタニア青年会員には教職が打診します。他にも該当する方、また原則以外にもご希望があれば教職までお申し出ください。12月末まで。

若い方たち一人ひとりの前途、その一步一步に神様の導きとみ守りがありますようにと、みんなで祈る時としましょう。

◆ 今年も寿の越冬が12月28日から1月4日まであります。炊き出しやパトロールに関心のある方は、掲示版をご覧ください。

◆ 横浜キリスト教書店の委託販売

- ① クリスマスにちなんだ本やカード・カレンダー、
- ② 子育て中の方への応援
- ③ キリスト教を初歩から学ぶために——という趣旨で取り揃えました。

④ については、ご要望があり、登山ガイドブックのよ
うな「おススメ図書リスト」(文責 加山牧師)を用意
しましたので、どうぞご自由にお持ちください。購入
したい物があれば、所定の用紙でお申し込みください。
注文の品は後日、書店が教会まで届けてくれます。期
間は、今日12月20日(日)までです。

◆ 沖縄教区のための募金(カンパ)

コロナ感染予防策として、分散礼拝ですが、こうい
うときだからこそ、「恵みの使者」としての働きを覚え、
先週13日(日)礼拝後に「ミニバザー」をおこないまし
た。協力ありがとうございました。結果については、
募金(カンパ)と合わせて、後日ご報告いたします。な
お、募金は今週も受け付けています。

(呼びかけ) 交流の旅参加者一同



日本基督教団 六角橋教会

牧師 加山 真路

牧師 佐藤 栄一

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋1-26-8

電話 045(432)0694

FAX 045(432)0194

郵便振替口座 00250-2-979

(ホームページ) www.rokkakubashi.org

降誕日の週報に

週報(38)

追加してください。

† 今日の受洗者

割愛

† 今日の信仰告白者

割愛

† 転入会者紹介

割愛

† 出席教師の紹介

割愛

※ 12月20日の「時間別分散礼拝」は、各回とも70名を超える「1Fホールでオンライン配信視聴」となります(聖餐式にはあずかっていたいただきますので、「安心ください」)。なお出席予定数は、12月16日時点で(11時 60名、2時 52名、5時 13名です。)
ご都合が変わった方や、まだ申し込まれていない方は、この人数を参考に「出席ください」。

* 季刊「冬」(1771号)が発行されました。

「コロナ禍の教会生活」(第3弾)を中心に、西川神学生のインタビュー、追悼、私の好きな讃美歌・聖書の場面など、教会の今の姿を伝える季刊です。ご感想・ご意見を、ぜひ委員まで。

◆ 聖書日曜日の献金—第2アドベントは日本聖書協会が呼びかける「聖書日曜日」。また現地語に翻訳されていない聖書を作ったり、点字聖書や、聴力を失った方々に手話訳の聖書を製作して届けています。分散礼拝につき、本日礼拝後も献金を募ります。1階受付に募金箱を用意しました。どうぞよろしく。

◆ 寿地区センターの炊き出し・バザーへの協力ありがとうございました。男性衣類及び米・食料品、その他日用雑貨合わせて24箱と毛布3枚を12月9日に寿地区センターにお届けしました。仕分け・梱包に8名が協力、荷物の搬送は梅澤謙司さん・みどりさんが引き受けてくださいました。また、同時にお願した献金は合計22,200円で、同じく9日に郵便局より寿地区センター宛てに「六角橋教会」として振り込みました。

併せて、加山牧師が関わる教区海員官教協力委員会と呼びかけている「海員のためのクリスマスプレゼント」にもたくさん品物が寄せられました。こちらは、加山牧師が後日お届けくださいます。

多くの方のご協力を感謝して報告いたします。

連絡係